

令和 7 年度第 6 回社会教育委員の会議

令和 8 年 1 月 2 3 日（金）

午 後 2 時 0 0 分 開 会

開催日時	令和 8 年 1 月 2 3 日	開会 1 4 時 0 0 分 閉会 1 5 時 3 0 分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室		
出席委員	議 長 笹井 宏益 副 議 長 金澤 大恵 委 員 新井 しのぶ 委 員 藤森 光一 委 員 北澤 隆司	委 員 渡邊 ふき子 委 員 伊丹 文男 委 員 鈴木 哲也	
説明のため出席した者の職氏 名	生涯学習部長 平野 純也 生涯学習課長 濱松 俊彦	図書館長 三浦 真 公民館長 鈴木 茂哉	
事務局	生涯学習係長 最所 拓也		
傍聴者人 数	0 人		

日程	議 題	
第 1	議 題	(1) 会議録の承認について (2) 都市社連協第 5 ブロック、交流大会・全体研修会について（報告） (3) 令和 7 年度二十歳を祝う会について（報告） (4) 関東甲信越社会教育研究大会について（報告） (5) 第 5 次小金井市生涯学習推進計画に係るパブリックコメントについて（素案）

笹井議長 皆さんこんにちは。定刻になりました。小林委員はご欠席という連絡をいただいております。事務局から資料の説明をお願いします。

最所生涯学習係長 本日の次第と、次第の2番に記載のある資料1から5となります。不足してものがあれば事務局までお申し出ください。

笹井議長 それでは議題の方に入っていきたいと思います。事務局からご説明をお願いいたします。

最所生涯学習係長 資料1をご覧ください。第3回社会教育会議の議事録ができましたので、会議録としてお配りいたしております。何か訂正あればこの場でいただいて、なければこの場でご承認いただいた後、ホームページ等で公開させていただきますのでよろしくお願いいたします。

笹井議長 よろしいでしょうか。では議題の2番目、都市社連協第5ブロック、交流大会・全体研修会報告について、事務局からご説明をお願いいたします。

最所生涯学習係長 資料2をご覧ください。第5ブロック研修会また交流大会にご出席いただきありがとうございました。特に交流大会につきましては、幹事市として無事開催できたということで、私どもとしては大変安堵しているというところであります。

また笹井会長初め、交流大会にご登壇いただいた方々、本当にありがとうございました。アンケート結果についても、おおむね好評というところでした。実施概要につきましては、記載のとおりになっております。交流大会が終わったというところで、4月に定期総会がありますので、そちらが幹事市として最後の務めということになります。引き続きよろしくお願いいたします。資料2について読ませていただきます。11月9日日曜日午後2時というところで、複数の方に来ていただきました。調布のたづくり会館12階にて演劇をテーマに開催され、かなり力が入ったというところで、圧倒された

部分がありました。令和8年度については、小金井市がブロック幹事市をやるということになっておりますので、皆様そのときもご協力よろしくお願いいたします。2番の社会教育委員の研修会について、こちらは12月13日に小金井宮地楽器ホール大ホールで行いました。笹井会長および小林委員は登壇者として舞台に立っていただいて、実際に講演並びにパネリストをやっていたというところで、改めて御礼申し上げます。内容は、各ブロック研修会の報告を第1から第5ブロックの社会教育委員の方が、報告をしております。その次に、研修会では、笹井会長の講演から始まりまして、事例発表、その後のパネリストによるパネルディスカッションというところで、こちらの方も大変ご好評ということ。タイトな時間設定だったので質疑応答の時間があまり取れなかったということ以外は、概ね無事終わったというふうに認識しております。ありがとうございました。アンケート抜粋にもありますが、おおむね好評な意見をいただきました。以上です。

笹井議長 短期間にバタバタと決めたが、うまくいったと思います。それでは次第の（3）について、事務局から説明をお願いします。

最所生涯学習係長 資料3をご覧ください。令和7年度二十歳を祝う会の実施について報告ということで報告させていただきます。令和8年1月12日に行われました。皆様大変ありがとうございました。成人の方たちも大変喜んでおり、無事終わったかと思います。今年度につきましても、毎年同様に式典から始まりまして、演奏、著名の方からビデオメッセージ、抽選会を実施しました。今年度は合計すると646名、式典に参加されたというところで、毎回大体50%を超える程度というところで推移をしております、大変多くの成人の方が集まられて、楽しい時間を過ごされたと認識しております。アンケートにある通り、大変盛り上がったというふうに認識をしておりますので来年度もぜひご参加よろしくお願いいたします。報告は以上です。

伊丹委員 出席者の人数で市外というのは、小金井市に住んでいながら、仕事とか学校で、他県に行っているような人の人数でしょうか。

最所生涯学習係長 市外の人数につきましては、現在は市外に住んでおり、案内状は届かないけれども、小中学校時代に市内で過ごされており、小金井市の二十歳を祝う会に出席を希望し、参加した人数となっております。

笹井議長 続きまして次第（４）について、事務局から説明をお願いします。

最所生涯学習係長 資料４をご覧ください。関東甲信越社会教育研究大会の開催冊子となっております。今年度については、藤森委員は急遽欠席ということで伊丹委員の方に行っていただきまして、ありがとうございました。もしよろしければ感想等、簡単にお聞かせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

伊丹委員 向こうのホテルへ泊まって２日間出席してまいりました。資料としてはこのような立派な冊子がありまして、皆様は本当に熱心に参加なさっているということを感じて、初日はプログラムの中にもございますけれども、中学校の獅子舞を披露してもらいました。素晴らしい獅子舞でテレビでもやっていました。関内ホールっていうところで開催されました。大変広く立派なところでした。初日はその後、歓迎セレモニーの後、開会宣言、式典がございまして、各委員長副委員長等々のご挨拶というところでございました。それと記念講演がございまして、その後シンポジウム、ここまでで３時間くらいでした。それで最後に閉会行事、ご挨拶があつて解散、その後懇親会がありまして、懇親会も参加してまいりました。テーブルで何人かが一緒に、関東近辺の社会教育委員の方々とお話する機会を持てたということは非常に良かった。今日お休みでございますけれども、小林委員がお見えになっていました。初日が終わりました、２日目の第１分科会に参加いたしました。第１分科会が「地域の教育力の再生と社会教育委員の役割」というテーマで、発表者として長野県の下諏訪の方と、栃木県の市貝町の方、それと神奈川の藤沢の方がおりました。演劇ではございませんでしたけれども、下諏訪では紙芝居を作ったとのことでした。それから神奈川県海老名市では社会教育委員とそれから助言者の間での協議が進んでいたとのことでした。下諏訪の場合は、計画したものが

うまくいかないため、最終的に紙芝居にしたというようなお話でございます。

社会教育委員1年生でございますので、どんなことをやっていいのかわからなかったですが、だんだんとわかってきたかなというような気持ちになっております。以上報告でございます。

最所生涯学習係長 小林委員から共有してくださいということで資料を預かっておりますので紹介いたします。関東甲信越静横浜大会の感想、所感が書いてありますので、こちらも参考にしてください。よろしくお願いいたします。以上です。

笹井議長 それでは次の議題にいきますが、第5次生涯学習推進計画について、事務局から説明をお願いします。

最所生涯学習係長 パブリックコメントについてです。第5次の推進計画を作ってまいりまして、この度、パブリックコメントを実施しておりました。実施期間は、12月5日金曜日から1月13日火曜日までで、市のホームページ等で周知いたしまして、窓口でウェブフォームを活用して、計3名の方より12件の意見をいただきました。

資料5をご覧ください。パブリックコメントの検討結果一覧を事務局で作成しております。また資料6については、今回パブリックコメントに出した最終案で、資料として添付してございます。

皆様にパブリックコメントの内容を見ていただき、意見をいただいた上で、最終的に庁内検討委員会の方でパブリックコメントの結果含めて決定していくという流れになっております。その間ですね軽微な修正等に入るかと思いますが、今の時点でのご意見をいただければと思っております。

簡単に一つずつご説明させていただきます。1番から12番まであります。

まず1番、地域でつくる生涯学習を効果的にするために、この方は学校施設の空調管理設備を強く希望されております。特別教室等は空調を早期に完成させるというところと、あと運用のルールを決めてほしいというところになっております。担当は学務課ということで、こちらの方は規定や学校施設の空調管理という点で、今回の計画ではなかなか難しい部分ではあるという認識でございました。意

見を担当課に伝えますということで、回答案はこちらに書いてある通り、学校施設における空調設備については、担当部署と共有してというような形で考えております。

2番について、広報の件です。具体的な発信方法や内容の充実についてと、生涯学習の周知についてというところです。公式ホームページ公式X、公式LINE、いろいろ活用する予定ですが、他にも積極的な活用ということで意見がありました。更なる検討ということで、パブリックコメント案としては回答をしようと思っております。続きまして3番目、ナイター設備について、学校施設や公園にナイターをつけてくれというご要望になっております。施設設備について、具体的にそのナイター設備の設置について言及は難しいため、今回は意見として承りますというところと、学校施設については、策定中の長寿命化計画に地域とともにある施設とうたっておりまして、地域活動の拠点として学校施設の整備を進めていくとなっておりますというところと、公園については、より使いやすい安全な設備にしていくと考えておりますので、そのことを回答案として記載をしたいと思います。

続きまして4番目、計画全般について、社会教育において、成人教育の部分が抜けているというご趣旨なのかなと理解しております。ここに書いてある通り、リカレント教育を初め、大人の学び直し等の推進をしていくというような回答になろうかと考えております。5番の「基本方針について」の部分でございます。こちらにつきましては、19ページに基本方針として記載しております。表現に関するご指摘であると受け止めております。現時点におきまして、私どもとしては、言葉遣いは適切であると考えております。いただいたご指摘につきましては、ご意見として承りたいと存じます。

続きまして、6番についてでございます。資料素案に、小中学生を対象として実施したアンケートの結果を記載しておりますが、その説明にとどまっているのではないかとというご指摘をいただいております。たとえば、「小学5年生が地域の大人と関わることに抵抗を感じている」といった記述がある点についてですが、今回のアンケートは、子どもたちの意識や傾向を把握することを目的として実施したものでございます。個別の回答内容につきましては、当然ながら十分に踏まえ、今後の取組に生かしていく考えでおります。しかしながら、本計画の中で、個別具体的な課題や詳細な分析結果ま

で記載することは難しいため、計画書としてはそこまで踏み込んだ記述は行わない方針としております。アンケート結果は、生涯学習の推進に向けた基礎資料として活用していくという位置づけで整理してまいりたいと考えております。

7番のSDGsに関するご指摘についてでございます。SDGsの記載につきましては、回答案のとおり適切に反映していると考えておりますので、現時点では特に問題はないものと認識しております。また、計画の中でコラムという形でSDGsを取り上げることも検討しており、その点も含めて現在整理を進めているところでございます。以上を踏まえ、回答案としてはこのような形で対応したいと考えております。

8番の「リスクリング・リカレント教育」に関するご指摘についてでございます。リスクリングへの言及がないという点につきましては、ご指摘のとおりでございます。ただし、リスクリングとリカレント教育は類似した側面を持ちながらも、本来は異なる概念であるため、私どもとしては回答案のとおり、両者を明確に区別して使用しているところでございます。リスクリングに直接触れていない点は事実ではございますが、計画内では両者の使い分けを適切に行っているとの認識であり、回答案のとおり、今後も明確に区別して記載していく考えでございます。

9番の「地域とともに作る生涯学習」と「地域の諸活動の担い手」に関するご指摘についてでございます。毎年評価すべきではないかというご意見として受け止めております。地域の担い手不足につきましては、地域の担い手について小委員会などを通じて、私どもも課題として認識しております。こうした状況を改善できるよう、ボランティアセミナーの活用など、担い手育成につながる取組を進めていきたいと考えております。以上を踏まえ、回答案のとおりに対応とさせていただきたいと存じます。

10番の「庁内の連携強化」、特に市長部局と教育委員会の連携に関するご意見についてでございます。ご指摘は、両者の連携の在り方についてどのように考えているのか、という点であると受け止めております。市長部局と教育委員会の連携につきましては、引き続き、教育総合会議をはじめとした様々な場を通じて、協働を進めていきたいと考えております。今後もあらゆる形で連携を図りながら、教育施策の推進に努めてまいりたいと考えております。以上を踏まえ、

回答案のとおり対応したいと存じます。

11番のご指摘についてでございます。文中にさまざまな語句が登場するものの、その説明が十分ではないというご意見として受け止めております。今回のパブリックコメントには間に合いませんでしたが、回答案のとおり、文中で使用している語句につきましては、巻末に用語集を掲載する予定でございます。必要に応じて、用語の説明を加える形で対応してまいりたいと考えております。

12番の「記載内容の修正」に関するご意見についてでございます。素案における部署名や文書表現について、さまざまなご指摘をいただいているものと認識しております。基本的には、素案に記載している部署名や文書表現は適切であると考えており、ご指摘の点につきましてはご意見として承りたいと存じます。ただし、現行の素案の中で誤字脱字など、明らかに誤りが認められる箇所につきましては、パブリックコメントでのご意見も踏まえ、適宜修正を行う予定でございます。現時点では、当該ファイルにおける表現は正しく使用されているとの認識であり、以上の内容で回答したいと考えております。

パブリックコメントの結果については以上でございます。

鈴木委員

3番のナイター設備についてでございます。私自身、学童野球から中学校の野球部まで子どもを野球に携わらせてきた親として申し上げますと、現在はグラウンドの確保が非常に困難な状況でございます。抽選の際には保護者が総動員で申し込みを行う状況であり、抽選に外れてしまうと別のグラウンドを探さざるを得ません。しかし、どこも予約で埋まっており、圧倒的にグラウンドや設備が不足していると感じております。また、現在議論されているバイパス整備に伴い、同地の野球場が撤去されとの説明がございました。そうすると、市内でナイター設備を備えた野球場がどこにあるのか、私自身把握しておりません。「いずれ整備する」という段階ではなく、道路整備が進むまでの間に、グラウンドへのナイター設備設置を計画的にご検討いただく必要があるのではないかと懸念しております。以上が1点目でございます。

続きまして、9番の地域の担い手不足についてでございます。ご回答案では「地域の担い手不足を認識しており、解消に向けて努力する」との記載がございますが、これは社会教育の分野でも広く指摘

されている全国的な課題であると承知しております。しかし、実際に「つなぐ役割」を担ってみますと、自治会、子どもたち、中学生、子育て世代など、それぞれ活動時間も立場も異なり、さらに自治会側の希望や子どもたちの都合なども重なり、現実にはなかなかうまくいかないことを実感しております。もし本当に地域の担い手不足を課題として認識されているのであれば、まずはそのギャップを埋めるために、成功事例を学ぶ機会を設けたり、コーディネート業務に関する研修を受けられるようにしたりすることが必要ではないかと考えます。希望される方には、段階的にトレーニングを提供するなどの支援がなければ、いきなり担い手として活動するのは難しいのではないかと思います。こうした点も、次期生涯学習計画を具体化していく中で、何らかの政策として検討いただけると良いのではないかと考えております。以上でございます。

笹井議長

町内会や地域の中で感じていることとして、どの地域でも同様の課題があり、短期的には解決が難しいという点がございます。町内会の仕組みは、もっと柔軟な組織にしていくべきではないかというご提案でございます。工夫や変化を取り入れていくことが、地域全体にとって一般的かつ重要な課題であると感じております。公園の管理や地域活動においても、同様の課題が見られるところでございます。

池田委員

8番のリカレント教育について、私のイメージですが、リカレントは学校卒業後の学びが中心で、生涯学習課が手に負えない分野ではないかと思います。

笹井議長

学校を卒業した後の学び直しの中には、大学や専門学校など学校教育が関わる部分もございますが、基本的には学校以外の場で行われる学びが中心となっております。一方で、今回の計画は行政計画であり、行政やその関連機関、団体、あるいは地域のNPOなどが担う領域を対象としております。企業の業績向上や生産性向上を目的としたリスクリングとは性質が異なり、そこに認識の違いがあるのではないかと感じております。企業向けのリスクリング施策は、経済産業省が主導して進めているスキームであり、デジタル分野の学び直しなども含め、国全体の産業政策として展開されているものです。

日本全体として成長が停滞し、国際競争力が低下している中で、一人ひとりの生産性向上のために学び直しが求められていることは理解しております。しかし、こうした施策は産業政策の領域であり、教育委員会や区市町村の産業振興担当だけで対応するのは難しい面がございます。企業は特定の地域にとどまらず活動しているため、東京都や国など、より広域的な枠組みで取り組むべき課題であると考えております。したがって、今回の生涯学習計画において、企業向けリスキリングを直接的に位置づけていないのはそのためでございます。ただし、大学との連携や地域の学習機会の提供など、行政として可能な範囲で学び直しを支援する取り組みは検討してまいります。

以上でございます。他にご意見がございましたらお願いいたします。

最所生涯学習係長 本日の議題については以上となります。計画のスケジュールについて説明させていただきます。今回パブリックコメントについて皆さんにご意見いただいて、微修正した後、2月中にホームページ等で公開となります。2月25日の会議のときに巻頭デザイン含め完成形に近い計画書をお示しできればと思っております。今後の予定としましては、2月2日、四者合同会議となっております。内容が会議ではなく、講演があった後、グループディスカッションしていただくという形となっております。第8回は2月25日に最後の社会教育委員会会議ということで、よろしくお願いいたします。最後に、東京都の方から通知文が来ておりまして、ぜひ社会教育委員の皆様にといいところで、笹井先生のオンラインセミナーとなっておりますので、ぜひ視聴をお願いいたします。以上です。

笹井議長 それでは今日の会議はこれまでとなります。お疲れ様でした。

事務局 ありがとうございました。

—— 了 ——